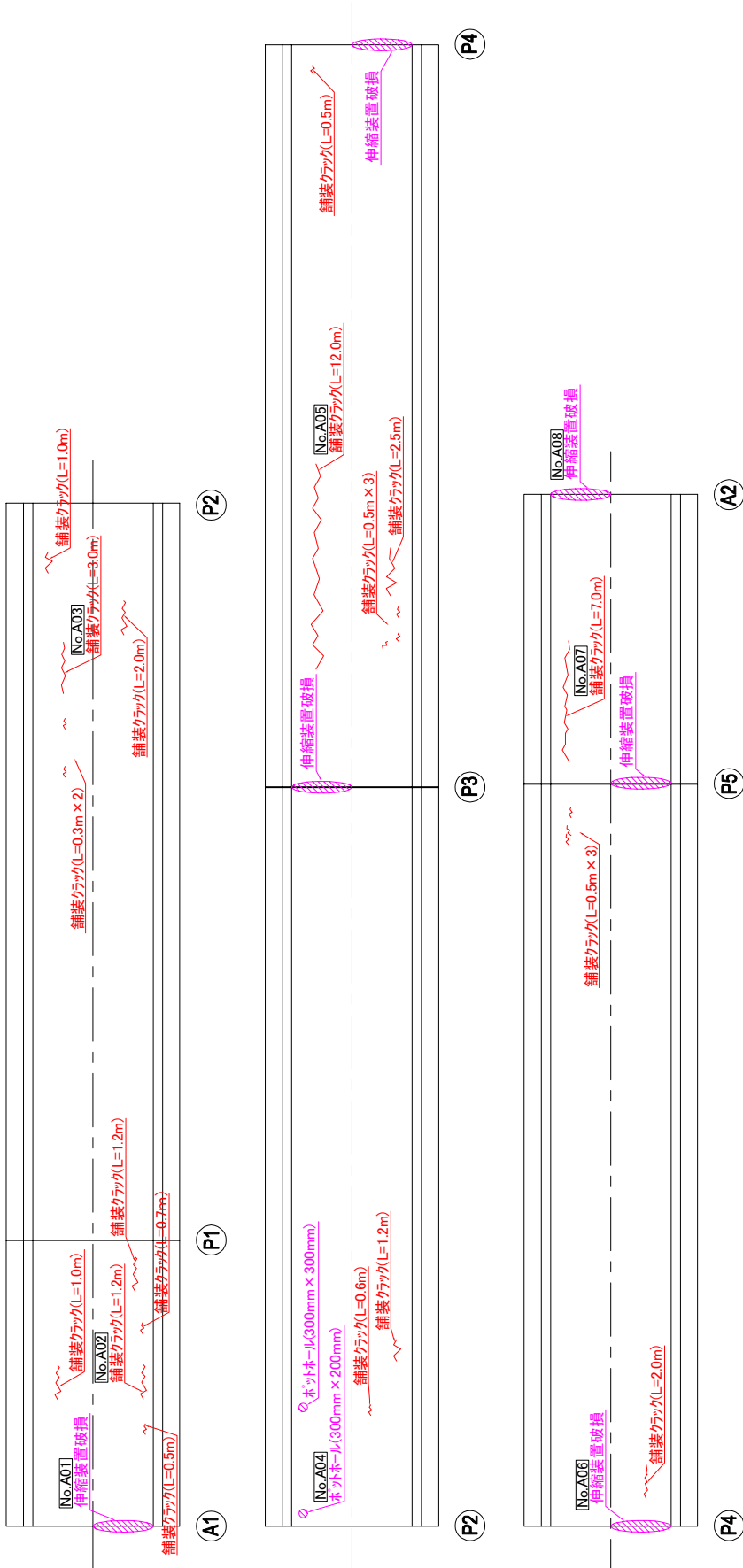


No.10 Naryn 橋
(314km+790)

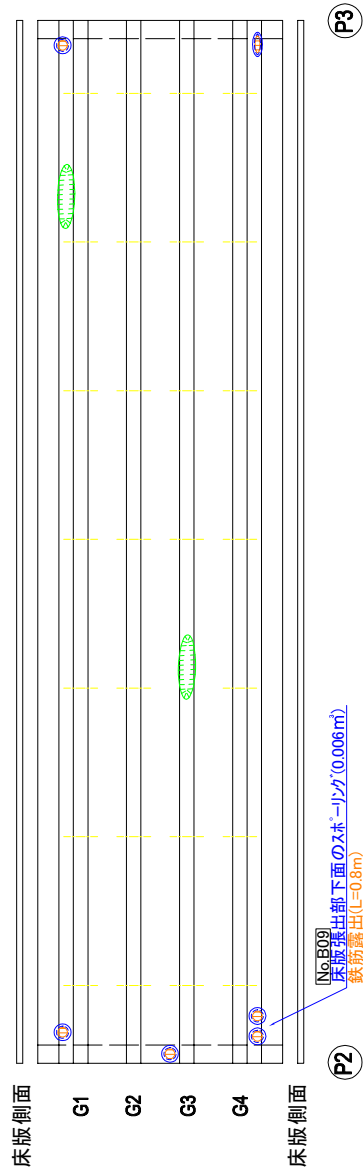
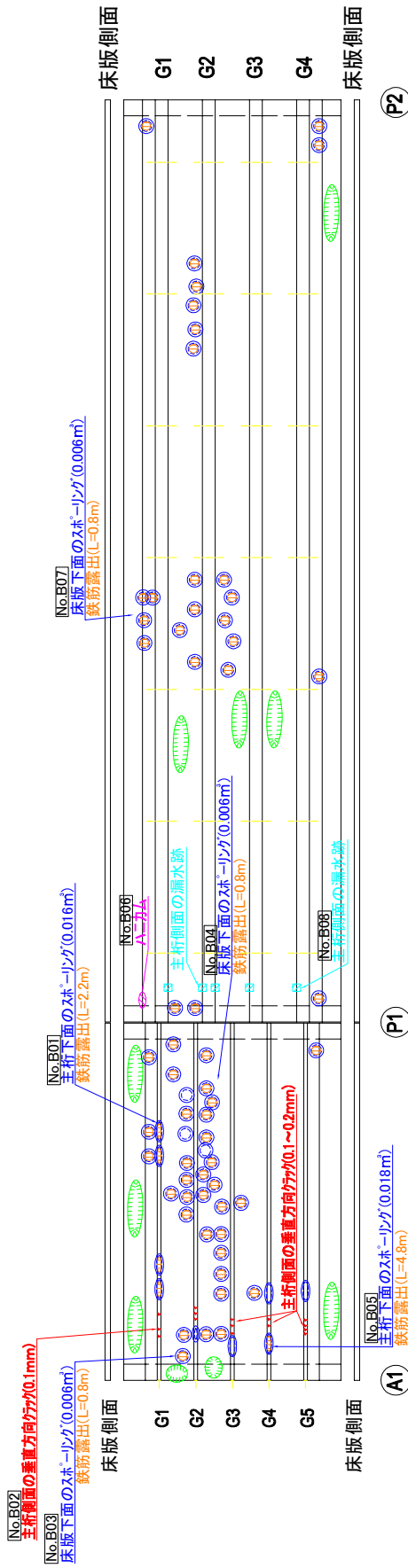
橋面



損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スポーリング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	[No.000]		

REVISIONS	No.	Date	Description
Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaanov Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic			
KEI INTERNATIONAL MATAHIRA & ENGINEERS			
Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz			
TITLE:			Approved by: _____ General Manager Checked by: _____ Designed by: _____
Drawing No. _____ Sheet No. _____			Date: _____ Scale: _____ Date: _____ Date: _____
			AUG. 2012

No.10 Naryn 橋 (314km+790) 上部工下面(1/2)

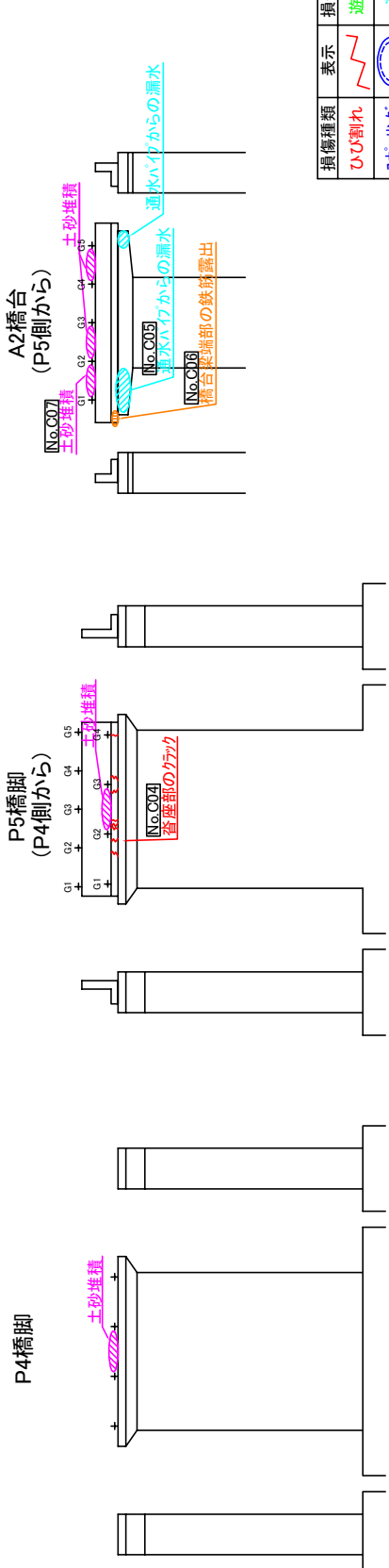
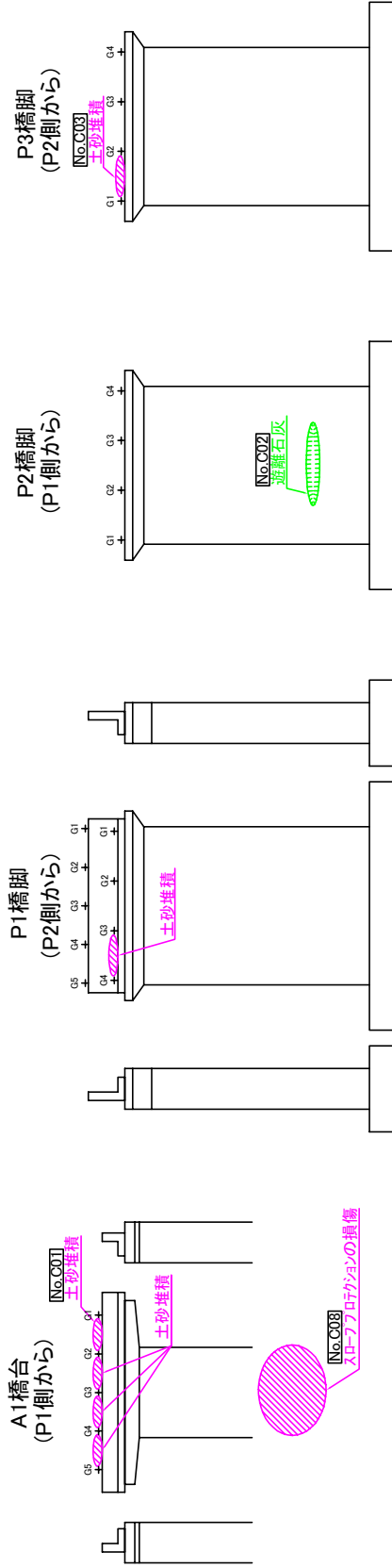


損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スポーリング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	[No.000]		

REVISIONS		TITLE :	Approved by : General Manager	Drawing No.	Sheet No.
No.	Date				
		Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz	Date : _____	Scale : _____	Date : _____
		 KEI INTERNATIONAL MATAHARA & ENGINEERS Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaanov Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic.	Checked by : _____	Date : _____	Designed by : _____
			Date : _____	Date : _____	Date : _____

No.10 Naryn 橋 (314km+790)

下部工



損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スボールガ		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	No.000		

※ A1・A2橋台、P1・P2・P3・P4・P5橋脚上の全鋼製支承に錆が生じている。





No.	Date	Description

Approved by: General Manager	Date:	Drawing No.	Sheet No.
Checked by:	Date:	Scale:	
Designed by:	Date:	Date:	AUG. 2012

TITLE:	Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz
	Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isakov Str Bishkek City, The Kyrgyz Republic.

Bridge No.10 Naryn 橋 (314km+790)

橋梁概要 (1/2)

	
<p>橋面 (A2 橋台側 から A1 橋台 側望む)</p>	<p>A1 橋台</p>
	
<p>橋梁側面 (G1 桁側)</p>	<p>P1 橋脚 (P2 橋脚側 より)</p>

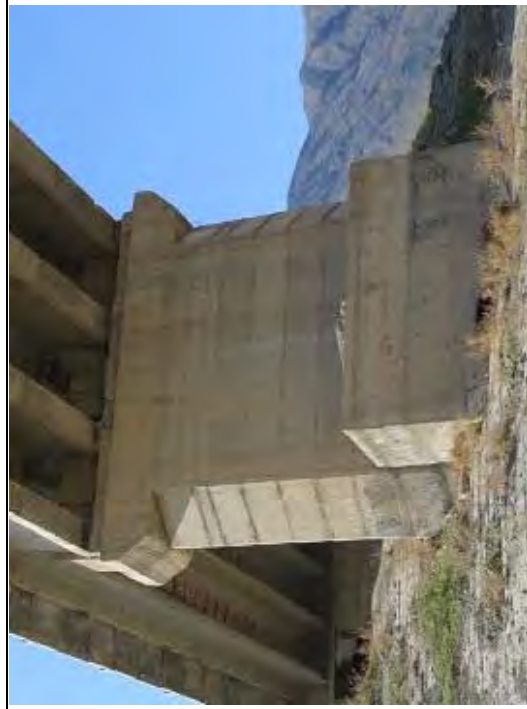
橋梁概要 (2/2)

P2, 橋脚
P3, 橋脚
P4, 橋脚

(A1 橋台側
より)



P5 橋脚
(P4 橋脚側
より)



P2, 橋脚
P3, 橋脚
P4, 橋脚

(A2 橋台側
より)



A2 橋台







橋面 (1/2)

<p>No.A01 [部材] 伸縮装置 A1 橋台</p> <p>[損傷状況] 伸縮装置の破損。 車両の通行により破 損したものと考えら れる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>		<p>No.A03 [部材] 舗装 P1 橋脚 P2 橋 脚間</p> <p>[損傷状況] 舗装面に橋軸方向の クワック(L=3.0m)あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	
<p>No.A02 [部材] 舗装 A1 橋台 P1 橋 脚間</p> <p>[損傷状況] 舗装面に橋軸方向の クワック(L=1.2m)あり。 温度変化等により生 じたものと考えられ る。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>		<p>No.A04 [部材] 舗装 P2 橋脚 P3 橋 脚間</p> <p>[損傷状況] 舗装面にホットホール (300mm x 200mm) あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	

橋面 (2/2)

<p>No.A05 [部材] 舗装 P3 橋脚 P4 橋脚間 [損傷状況] 舗装面に橋軸方向のクラック(L=12.0m)あり。 プラスチック床版の継目位置で生じているものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>		<p>No.A07 [部材] 舗装 P5 橋脚 A2 橋台間 [損傷状況] 舗装面に橋軸方向のクラック(L=7.0m)あり。 プラスチック床版の継目位置で生じているものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	
<p>No.A06 [部材] 伸縮装置 P4 橋脚 [損傷状況] 伸縮装置の破損。車両の通行により破損したものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>		<p>No.A08 [部材] 伸縮装置 A2 橋台 [損傷状況] 伸縮装置の破損。車両の通行により破損したものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	





上部工 (1/5)

<p>No. B01</p> <p>[部材] 第 1 径間 G1 桁下面</p> <p>[損傷状況] 主桁下面にスボ-リング (0.016 m³) および鉄筋露出 (延長 2.2m) あり。施工時の接触等により生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>		<p>No. B03</p> <p>[部材] 第 1 径間床版下面 G1 桁 G2 間 A1 橋台付近</p> <p>[損傷状況] スボ-リング (0.006 m³) および鉄筋露出 (延長 0.8m) あり。プレキャスト床版を固定するためのボルト穴を削孔した際に生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>	
<p>No. B02</p> <p>[部材] 第 1 径間 G1 桁側面 (外側) A1 橋台付近</p> <p>[損傷状況] 主桁の垂直方向にクラック (0.1 ~ 0.2mm) あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>		<p>No. B04</p> <p>[部材] 第 1 径間床版下面 G2 桁 G3 桁間</p> <p>[損傷状況] スボ-リング および鉄筋露出あり。プレキャスト床版を固定するためのボルト穴を削孔した際に生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>	


上部工 (2/5)

<p>No. B05 [部材] 第1径間 G4 桁下面 A1 橋台付近</p> <p>[損傷状況] 主桁下面にポリング (0.018 m²) および 鉄筋露出 (延長 4.8m) あり。 施工時の接触等によ り生じたものと考え られる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>		<p>No. B07 [部材] 第2径間床版張出 部下面 G1 桁側</p> <p>[損傷状況] 床版張出部下面に入 ポリングおよび鉄筋 露出あり。 プレキャスト床版を固定 するためのポット穴を 削孔した際に生じた ものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	
<p>No. B06 [部材] 第2径間床版張出部 下面 G1 桁側</p> <p>[損傷状況] 床版張出部端部のハ ムあり。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>		<p>No. B08 [部材] 第2径間 G4 桁側面 (G3 桁側)</p> <p>[損傷状況] 排水口周辺に漏水跡 あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	





上部工 (3/5)

<p>No. B09 [部材] 第 3 径間床版張出部 下面 G4 桁側</p> <p>[損傷状況] 床版張出部下面にス ホーリングおよび鉄筋 露出あり。 遊離石灰も見られる ことから、橋面から の漏水による鉄筋腐 食が生じそれにより 発生したものと考え られる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>		<p>No. B11 [部材] 第 4 径間床版下面 G1 桁 G2 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面にスホーリング (0.006 m²) および 鉄筋露出 (延長 0.8m) あり。 プレキャスト床版を固定 するためのホト穴を削 削孔した際に生じた ものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>	
<p>No. B10 [部材] 第 4 径間床版下面 G1 桁 G2 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面間詰コンクリ 部のスホーリング (0.18 m²) および鉄筋露出 (延長 42.0m) あり。 間詰コンクリート部の鉄筋 のかぶり不足による ものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>		<p>No. B12 [部材] 第 4 径間床版下面 G2 桁 G3 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面間詰コンクリ ートの遊離石灰あり。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>	



上部工 (4/5)

<p>No. B13 [部材] 第 5 径間床版下面 G2 桁 G3 桁間 P5 橋 脚付近</p> <p>[損傷状況] 床版下面間詰コンクリート 部の鉄筋露出 (延長 3.0m) あり。 間詰コンクリート部の鉄筋 のかぶり不足と考え られる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>		<p>No. B15 [部材] 第 6 径間 G2 桁下面 A2 橋台付近</p> <p>[損傷状況] 主桁下部にスボ-リング (0.004 m³) あり。 施工時の接触等によ り生じたものと考え られる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>	
<p>No. B14 [部材] 第 6 径間 G1 桁下面 A2 橋台付近</p> <p>[損傷状況] 主桁下面のスボ-リング (0.027 m³) および 鉄筋露出 (延長 3.8 m) あり。 施工時の接触等によ り生じたものと考え られる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>		<p>No. B16 [部材] 第 6 径間床版下面 G3 桁 G4 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面にスボ-リング および鉄筋露出あ り。 プレキャスト床版を固定 するためのボルト穴を 削孔した際に生じた ものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012 年 4 月 13 日</p>	

上部工 (5/5)

<p>No.B17 [部材] 第6径間床版下面 G3桁G4桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面にスボ-リング および鉄筋露出あり。 プラスチック床版を固定 するためのボルト穴を 削孔した際に生じた スボ-リング部より漏水 し浮きが発生したも のと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>		<p>No.B19 [部材] 第6径間G5桁下部 A橋台付近</p> <p>[損傷状況] 主桁下部のスボ-リング (0.004㎡)あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	
<p>No.B18 [部材] 第6径間床版下面間 詰コンクリート部G4桁 G5桁間</p> <p>[損傷状況] 間詰コンクリート部に加え および鉄筋露出あり。 間詰コンクリート部の施工 不良により生じたも のと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>		<p>No.B20 [部材] 第6径間床版張出部 下面G5桁側</p> <p>[損傷状況] 床版張出部下面に遊 離石灰あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	

下部工 (1/2)

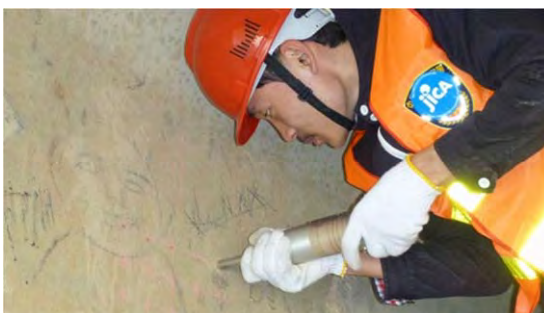
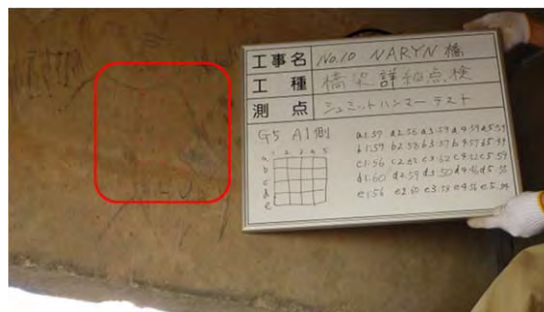
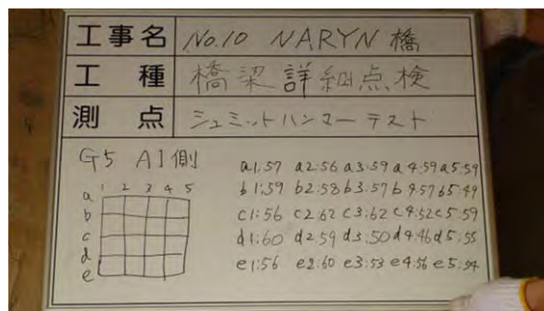
<p>No.C01 [部材] A1 橋台沓座部 G1 桁 G2.桁間</p> <p>[損傷状況] 沓座部に土砂堆積あり。 橋面舗装修時等に遊間部から堆積したものと考えられる。</p>		<p>No.C03 [部材] P3 橋脚 沓座部 G1 桁 G2.桁間</p> <p>[損傷状況] 沓座部に土砂堆積あり。橋面舗装修時等に遊間部から堆積したものと考えられる。 支承の鋼製部分に錆が発生している。床版端部からの漏水や土砂堆積による影響と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	
<p>No.C02 [部材] P2 橋脚</p> <p>[損傷状況] 橋脚コンクリートに遊離石灰あり。</p>		<p>No.C04 [部材] P5 橋脚 沓座コンクリート</p> <p>[損傷状況] 沓座コンクリートに垂直方向のクラック、鋼製支承に錆が発生している。</p> <p>[調査日] 2012年4月13日</p>	

下部工 (2/2)

<p>No.C05 [部材] A2 橋台 G1 側梁</p> <p>[損傷状況] 通水ハ17°からの漏水あり。</p>		<p>No.C07 [部材] A2 橋台脊座部 G4 桁 G5.桁間</p> <p>[損傷状況] 脊座部に土砂堆積あり。 橋面舗装補修時等に遊間部から堆積したものと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012年4月13日</p> <p>No.C06 [部材] A2 橋台 G1 側脊座端部</p> <p>[損傷状況] 脊座コンクリート端部に鉄筋露出あり。</p>		<p>[調査日] 2012年4月13日</p> <p>No.C08 [部材] A1 橋台スロ-プ°アサシ</p> <p>[損傷状況] スロ-プ°アサシの一部分損傷あり。</p>	

シュミットハンマーテスト結果

橋名	No10Naryn橋		STA. No.314+790	
位置	RCDG主桁		橋台	橋脚
	G5桁A1側			
打撃姿勢	水平(H)	水平(H)		
	h			
回数	No.1	No.2	No.3	No.4
1	57			
2	56			
3	59			
4	59			
5	59			
6	59			
7	58			
8	57			
9	57			
10	56			
11	52			
12	59			
13	60			
14	59			
15	50			
16	55			
17	56			
18	60			
19	54			
20	56			
平均R	56.9	0	0	0
F =	54.5	-12.7	-12.7	-12.7



$$F = Gx(-184+13.0Ro) \quad (\text{N/mm}^2) \quad (\text{for Horizontal Impact})$$

$$F = Gx(-130+12.5Ro) \quad (\text{N/mm}^2) \quad (\text{for Vertical Impact})$$

$$G = 0.0980665$$

橋梁諸元

橋梁名	No.13 Kara-Su River	路線名	国道ビシケク-オシ道路	管轄	ビシケク-オシ道路管理局
所在地	Jalal-Abad 州、Toktogul 区、Jazykechuu 村	距離標	Sta.373+700		DEP30

供用開始	? 年 (2002 年に拡幅)	活荷重	60ton
橋長又は支間長	17.15m、17.95m (拡幅部)	総径間数	1
上部工形式	単純 RC 桁、単純 PC 桁 (拡幅部)	下部工形式	橋台：不明 橋脚：-
基礎形式	橋台：不明 橋脚：-	支承種別	鋼製
橋面舗装種別	アスファルトコンクリート舗装	橋梁建造元	USSR、MOTC (拡幅部)

幅員	11.72m	歩道	路肩	車道	車道	歩道	歩道
		0.8m	1.3m	3.76m	3.76m	1.3m	0.8m

側面図・平面図・主桁配置図・主桁詳細図・地覆高欄詳細図

側面図 縮尺 S=1:150

側面図 縮尺 S=1:150

平面 縮尺 S=1:150

地覆高欄詳細図 縮尺 S=1:20

主桁詳細 縮尺 S=1:20

写真

側面 (上流側から)

橋面 (ビシケク側から)

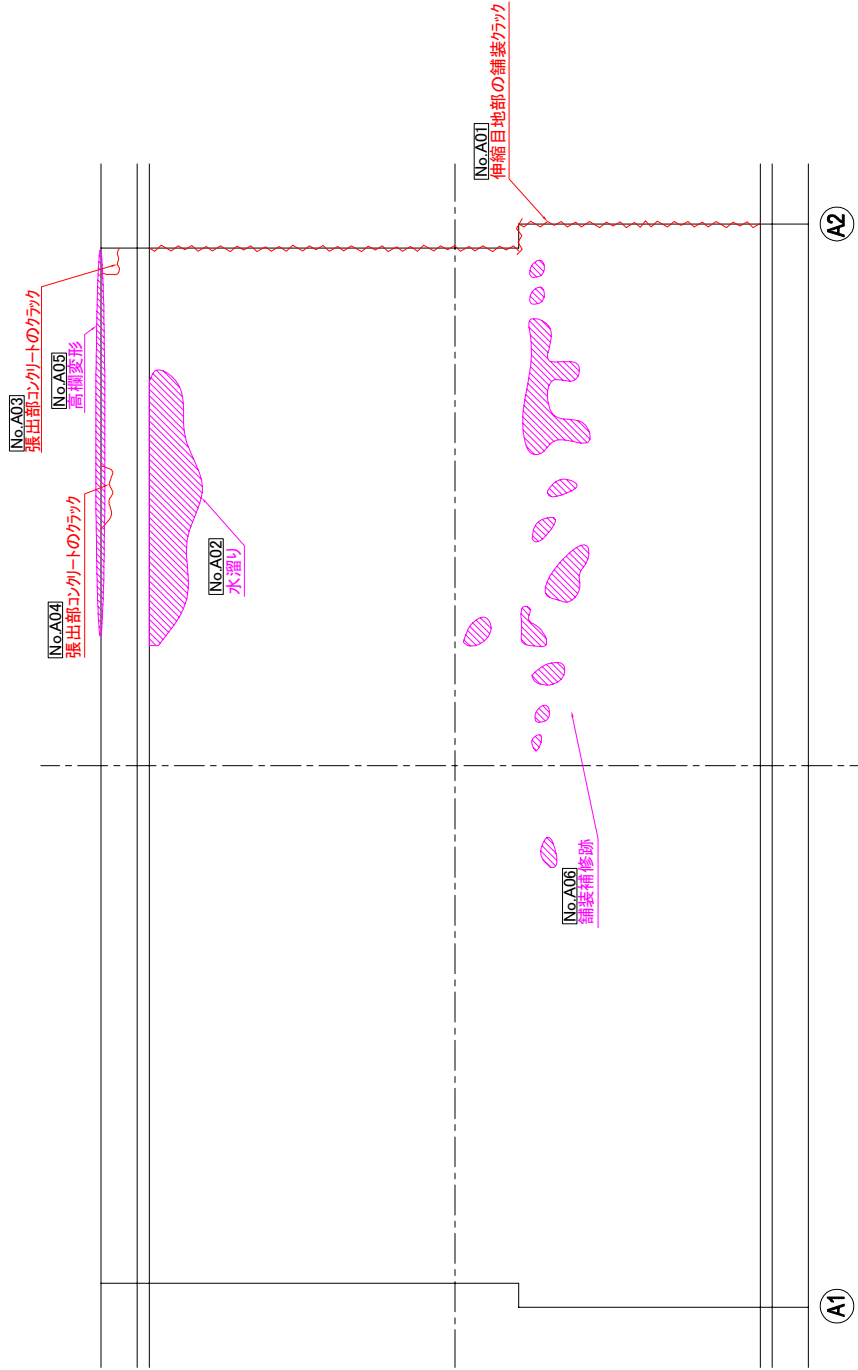
径間毎の調査結果

No.13 橋		径間番号						1			補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰 (番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状			
主桁	01	a	-	無						2 一部鉄筋露出	No.B01 ~ B02	
	02	a	-	無						2 一部鉄筋露出	No.B03	
	03	a	-	無						3 ジャンカ	No.B04	
	04	a	-	無						2 一部鉄筋露出、ジャンカ	No.B05	
	05	a	-	無						2 一部鉄筋露出	No.B06 ~ B08	
	06	a	-	無						3	-	
	07	a	-	無						2 一部鉄筋露出	No.B09	
	08	a	-	無						3	No.B11	
横桁	01	a	-	無						3	-	
	02	a	-	無						3	-	
	03	a	-	無						3	-	
床版	01			無	無	a				3 遊離石灰	-	
	02			無	無	a				3	-	
	03			無	無	a				3	-	
	04			無	無	a				3	-	
	05			無	無	a				3	-	
	06			無	無	a				3	-	
	07			無	無	a				3	-	
	08			無	無	a				3	-	
	09			無	無	a				3 遊離石灰、漏水	No.B10	
下部工	01	a	-	無					無	3 ジャンカ	No.C01	
	02	a	-	無					無	3 ジャンカ	No.C03	

No.13 橋		径間番号					1				補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
支承	101								無		2 腐食程度(中)	-
	102								無		2 腐食程度(中)	-
	103								無		2 腐食程度(中)	-
	104								無		2 腐食程度(中)	No.C02
	105								無		2 腐食程度(中)	No.C02
	106								無		2 腐食程度(中)	-
	107								無		2 腐食程度(中)	-
	108								無		2 腐食程度(中)	-
	201								無		2 腐食程度(中)	-
	202								無		2 腐食程度(中)	-
	203								無		2 腐食程度(中)	No.C04
	204								無		2 腐食程度(中)	-
	205								無		2 腐食程度(中)	-
	206								無		2 腐食程度(中)	-
	207								無		2 腐食程度(中)	-
	208								無		2 腐食程度(中)	-
路面								有			2 伸縮装置部ひび割れ	No.01 ~ A06
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。											
評価	緊急に補修が必要な箇所は無いものの、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。											
調査日	2012年4月10日、11日、28日					調査者	中村友彦					

No.13 Karasu I 橋
(373km+700)

橋面



損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スボ-リング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	[No.000]		

No.	Date	Description



Ministry of Transport
and Communication
(MOTC)
42 Isaev Str. Bishkek City,
The Kyrgyz Republic



Special Assistance
for Project Sustainability
on Bishkek-Osh Road
Rehabilitation Project Phase 2
(SAPS) in Kyrgyz

TITLE:

Approved by :
General Manager

Checked by :

Designed by :

Date :

Date :

Date :

Drawing No.

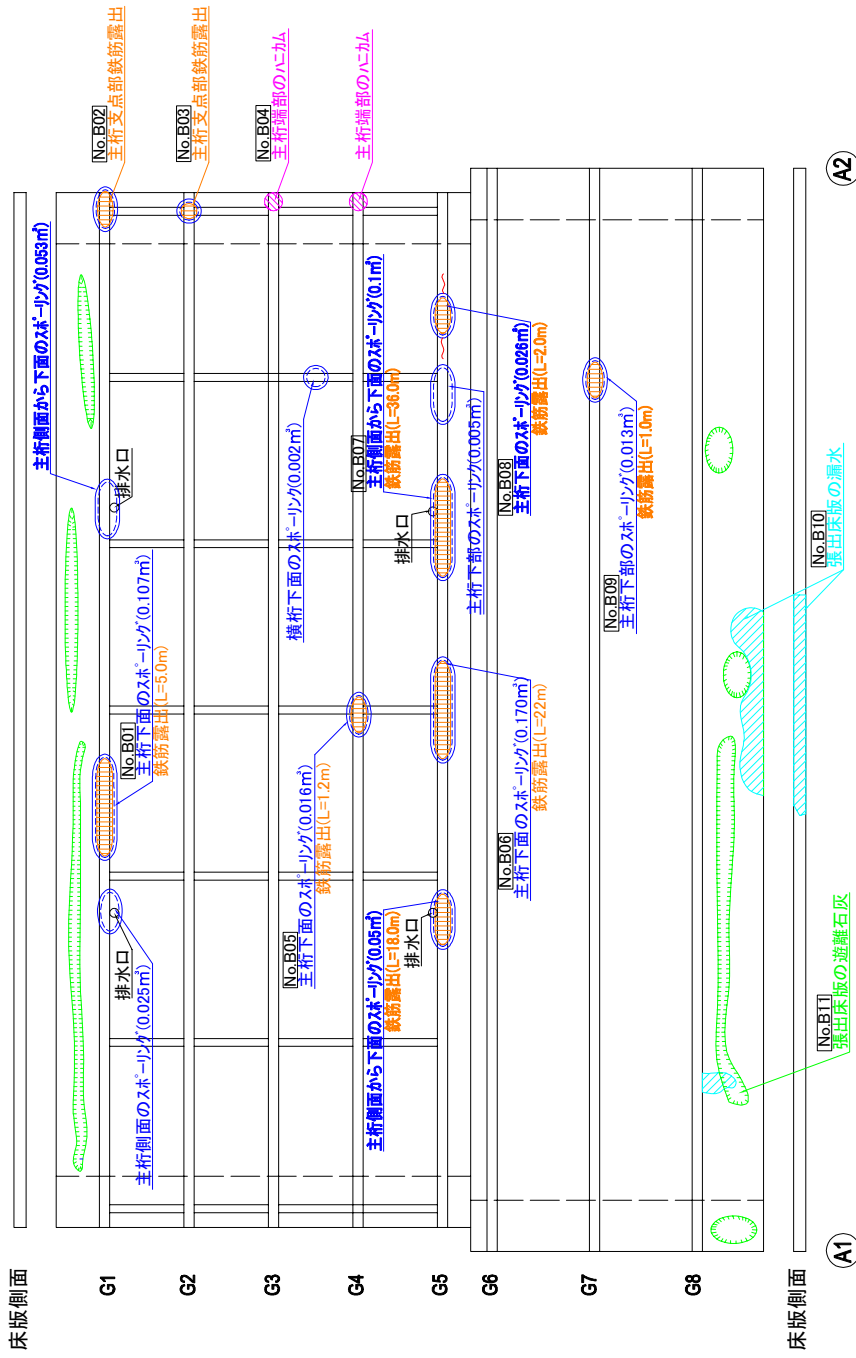
Scale :

Sheet No.

Date :
AUG. 2012

No.13 Karasu I 橋 (373km+700)

上部工下面



描種類	表示	描種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スポーリング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	No.000		

No.	Date	Description



Ministry of Transport
and Communication
(MOTC)
42 Isaev Str. Bishkek City,
The Kyrgyz Republic



Special Assistance
for Project Sustainability
on Bishkek-Osh Road
Rehabilitation Project Phase 2
(SAPS) in Kyrgyz

TITLE :

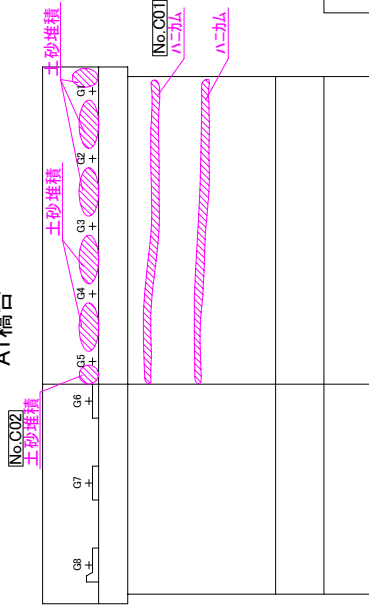
Approved by :
General Manager
Checked by :
Designed by :

Date :
Date :
Date :
Drawing No.
Scale :
Sheet No.
Date :
AUG. 2012

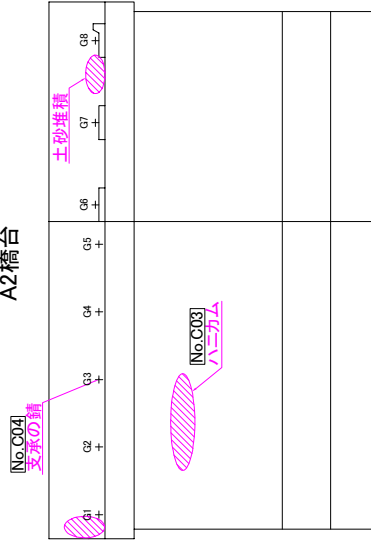
No.13 Karasu I 橋 (373km+700)

下部工

A1橋台



A2橋台



損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スポーリング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	No.000		

※ A1橋台・A2橋台上の全鋼製支承に錆が生じている。

REVISIONS

Description

Date

No.

No.	Date	Description

TITLE :

Special Assistance
for Project Sustainability
on Bishkek-Osh Road
Rehabilitation Project Phase 2
(SAPS) in Kyrgyz



Ministry of Transport
and Communication
(MOTC)
42 Isaanov Str. Bishkek City,
The Kyrgyz Republic



Sheet No.

Drawing No.

Date :

Scale :

Date :

Date :

Date :

Designed by :

Checked by :

Approved by :

General Manager

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :

Date :





Date :

Bridge No.13 Karasu 橋


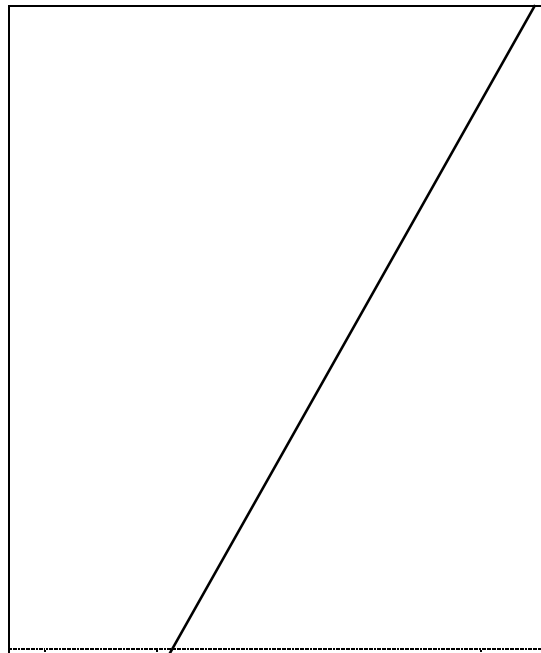

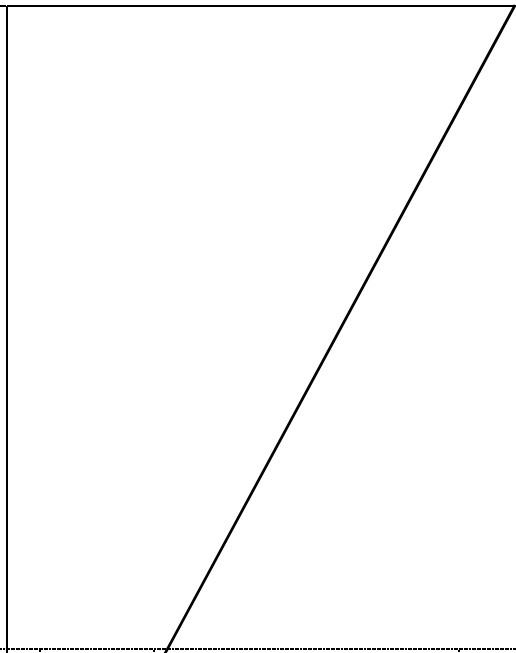
橋梁概要

<p>橋面 (A1 橋台側 から A2 橋台 側を望む)</p>		<p>A1 橋台</p>	
<p>橋梁側面 (G8 桁側よ り)</p>		<p>A2 橋台</p>	

橋面 (1/2)

<p>No.A01 [部材] A2 橋台伸縮目地部 舗装</p> <p>[損傷状況] 伸縮目地部の舗装に クラックあり。 伸縮装置が無いた め、桁および床版の 伸縮により発生した と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月11日</p>		<p>No.A03 [部材] 張出床版コンクリート</p> <p>[損傷状況] 張出床版コンクリート表面 に幅 20mm のクラック あり。 車両の衝突により発 生したものと考えら れる。</p> <p>[調査日] 2012年4月11日</p>	
<p>No.A02 [部材] 橋面 A2 橋台側</p> <p>[損傷状況] 舗装上に水溜りあ り。 排水口が舗装面より 高い位置に設置され ているために排水さ れていない。</p> <p>[調査日] 2012年4月11日</p>		<p>No.A04 [部材] 張出床版コンクリート</p> <p>[損傷状況] 張出床版コンクリート表面 に幅 5mm のクラックあ り。</p> <p>[調査日] 2012年4月11日</p>	

橋面 (2/2)

<p>No.A05 [部材] 鋼製高欄 A2 橋台 G1 柵側 [損傷状況] 鋼製高欄の変形。 車両の衝撃によるもの と考えられる。</p>		<p>No. [部材] [損傷状況] [判定]</p>	
<p>No.A06 [部材] 舗装面 [損傷状況] A2側 G6柵~G7柵 上付近に補修跡あり。</p>		<p>No. [部材] [損傷状況] [判定]</p>	




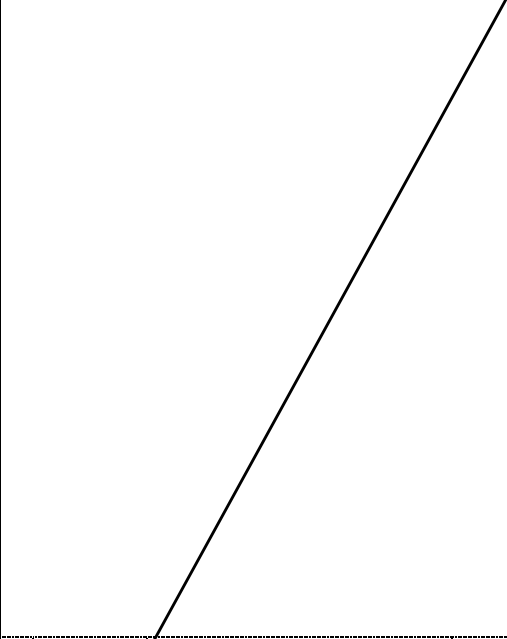
上部工 (1/3)

<p>No. B01 [部材] G1 桁 下面</p>		<p>No. B03 [部材] G2 桁 A2 橋台支点 上</p>	
<p>[損傷状況] 主桁下部のホップ・リング (0.107 m³) および 鉄筋露出 (鉄筋径 32mm、延長 5.0m) あり。 主桁の施工不良によ り生じたものと考え られる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>	<p>[損傷状況] 支点部に鉄筋露出あ り。 施工不良により生じ たものと考えられ る。</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>
<p>No. B02 [部材] G1 桁 A2 橋台支点 上</p>		<p>No. B04 [部材] G3 桁 A2 橋台支点 上</p>	
<p>[損傷状況] 支点部に鉄筋露出あ り。 施工不良により生じ たものと考えられ る。</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>	<p>[損傷状況] 桁端部のコンクリートに 加あり。</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>

上部工 (2/3)

<p>No.B05 [部材] G4 桁 中央付近</p>		<p>No.B07 [部材] G5 桁</p> <p>[損傷状況] 主桁下部にスホーリング (0.016 m³) および鉄筋露出 (鉄筋径 32mm、延長 1.2m) あり。 施工不良により生じたものと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012年4月11日</p>	<p>No.B06 [部材] G5 桁 下面</p> <p>[損傷状況] 主桁下面にスホーリング (0.17 m³) および鉄筋露出 (延長 22m) あり。 施工不良により生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>	<p>No.B08 [部材] G5 桁 下面</p> <p>[損傷状況] 主桁下面のコンクリートに空洞 (0.026 m³) があり鉄筋露出 (鉄筋径 32mm、延長 2.0m) あり。 施工不良により生じたものと考えられる。</p>
<p>[調査日] 2012年4月11日</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>

上部工 (3/3)

<p>No.B09 [部材] G7 桁側面(外側)下部</p> <p>[損傷状況] 主桁下端にポットリング(0.013 m³)および鉄筋露出(延長1.0m)あり。施工時の接触等により生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月11日</p>		<p>No.B11 [部材] G8 桁側面(外側)</p> <p>[損傷状況] G8 桁フランジ下面に遊離石灰が発生している。主桁と張出床版部の接続部からの漏水によるものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月11日</p>	
<p>No.B10 [部材] 張出床版下面(G8桁側)</p> <p>[損傷状況] 漏水および遊離石灰。橋面からの漏水によるものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月11日</p>		<p>No. [部材]</p> <p>[損傷状況]</p> <p>[判定]</p>	

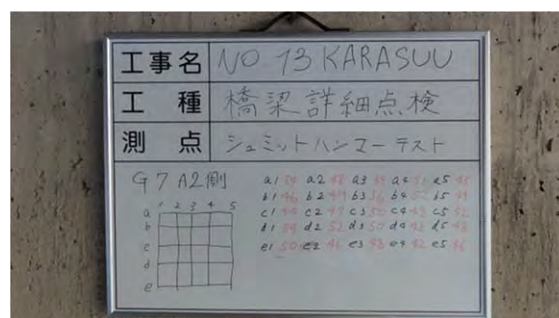
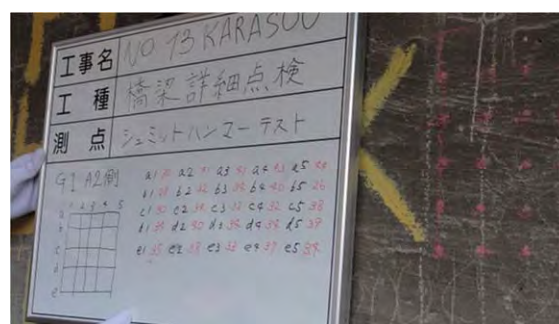
下部工 (1/1)

<p>No.C01 [部材] A1 橋台前</p>		<p>No.C03 [部材] A2 橋台前</p>	
<p>[損傷状況] 橋台前面に水平方向 に凹みあり。</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>	<p>[損傷状況] 橋台前面に凹みあり。</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>
<p>No.C02 [部材] A1 橋台脊座面 G4 桁 G5 桁 4間</p>		<p>No.C04 [部材] G3 桁 A2 橋台</p>	
<p>[損傷状況] 脊座部に土砂堆積あり。 橋面舗装補修時等に 遊間部から堆積した ものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>	<p>[損傷状況] 鋼製支承に錆が発生 している。 床版端部からの漏水 や土砂堆積による影 響と考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月11日</p>

シュミットハンマーテスト結果

橋名	No13Karasuu 1橋		STA. No.373+400	
位置	主桁		橋台	橋脚
	G1桁A2側	G7桁A2側		
打撃姿勢	水平(H)			
	h	h		
回数	No.1	No.2	No.3	No.4
1	41	48		
2	41	44		
3	43	51		
4	44	45		
5	33	46		
6	34	49		
7	40	52		
8	30	49		
9	34	44		
10	32	47		
11	32	50		
12	38	48		
13	34	52		
14	40	54		
15	34	52		
16	34	50		
17	39	48		
18	35	50		
19	38	46		
20	37	48		
平均R	36.65	48.65	0	0
F =	28.7	44	-12.7	-12.7

$F = Gx(-184+13.0Ro)$ (N/mm²) (for Horizontal Impact)
 $F = Gx(-130+12.5Ro)$ (N/mm²) (for Vertical Impact)
 $G = 0.0980665$



橋梁諸元

橋梁名	No.14 Kara-Su River	路線名	国道ビシケク-オシュ道路	管轄	ビシケク-オシュ道路管理局
所在地	Jalal-Abad 州、Toktogul 区、Jazykechuu 村	距離標	Sta.376+980		DEP30

供用開始	? 年	活荷重	60ton
橋長又は支間長	16.9m	総径間数	1
上部工形式	単純 RC 桁	下部工形式	橋台：不明 橋脚：-
基礎形式	橋台：不明 橋脚：-	支承種別	鋼製
橋面舗装種別	アスファルトコンクリート舗装	橋梁建造元	USSR

幅員	10.22m	地覆	歩道	車道	車道	歩道	地覆
		0.22m	1.25m	3.625m	3.625m	1.25m	0.22m

側面図・平面図・主桁配置図・主桁詳細図・地覆高欄詳細図

側面図 縮尺 S=1:150

主桁配置 縮尺 S=1:50

平面 縮尺 S=1:150

主桁詳細 縮尺 S=1:20

地覆高欄詳細図 縮尺 S=1:20

写真

側面（上流側から）

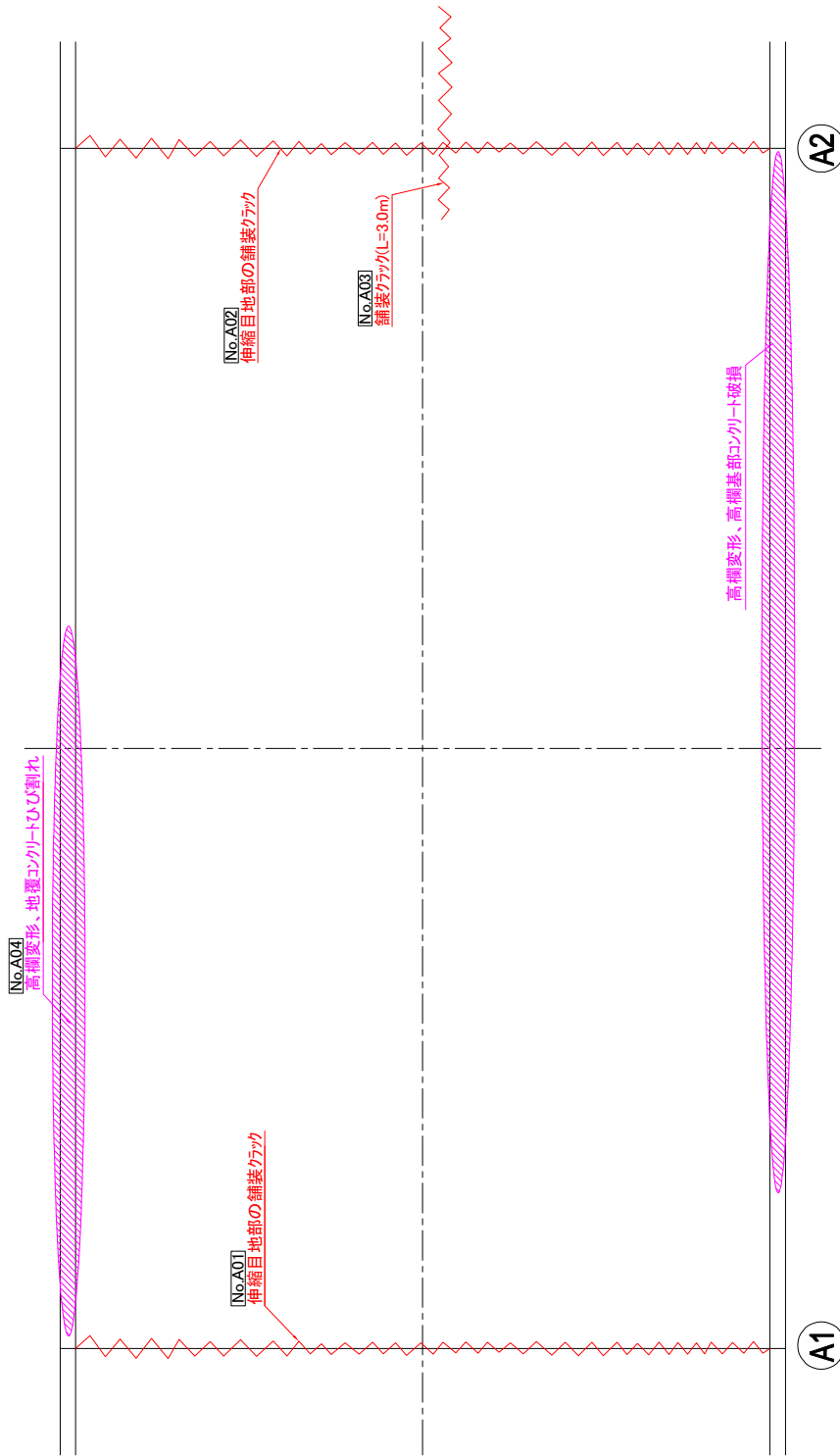
橋面（ビシケク側から）

径間毎の調査結果

No.14 橋		径間番号						1				
		コンクリート部材の損傷						その他			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		ひび割れ・漏水・遊離石灰 (番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状			
主桁	01	a	-	無							3	-
	02	a	-	無							3	-
	03	a	-	無							3	-
	04	a	-	無							3	-
	05	a	-	無							2 一部剥落	No.B03
	06	a	-	無							2 一部鉄筋露出	No.B04
	07											
	08											
横桁	01	a	-	無							3	-
	02	a	-	無							2 上部にひび割れ	No.B01 ~ B02
	03	a	-	無							3	-
床版	01			無	有	a					2 剥落	No.B05
	02			無	無	a					3 遊離石灰	-
	03			無	無	a					3 遊離石灰	No.B08
	04			無	無	a					3 遊離石灰	-
	05			無	無	a					3 遊離石灰	No.B07
	06			無	無	a					3 遊離石灰	-
	07			無	無	a					2 遊離石灰、剥落・鉄筋露出	No.B06
	08											
	09											
下部工	01	a	-	無						無	3 遊離石灰	No.C02 ~ C03
	02	a	-	無						無	3	-

No.14 橋		径間番号					1			補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
支承	101								無		2 腐食程度 (中)	-
	102								無		2 腐食程度 (中)	-
	103								無		2 腐食程度 (中)	-
	104								無		2 腐食程度 (中)	-
	105								無		2 腐食程度 (中)	-
	106								無		2 腐食程度 (中)	No.C01
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度 (中)	-
	202								無		2 腐食程度 (中)	-
	203								無		2 腐食程度 (中)	-
	204								無		2 腐食程度 (中)	No.C04
	205								無		2 腐食程度 (中)	No.C04
	206								無		2 腐食程度 (中)	-
	207											
	208											
路面								有			2 伸縮装置部 ひび割れ	No.A01 ~ A04
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。高欄が車両の衝突により、変形している。A1 橋台上流側のウイング背面土および護岸が雨水および河川流により浸食されている。											
評価	緊急に補修が必要な箇所は無いものの、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。また、安全性を確保するために、高欄の補修または取り換えを実施すべきである。A1 橋台背面から護岸部の整備を増水時、降雨に備えて実施すべきである。											
調査日	2012年4月10日、12日、28日					調査者		中村友彦				

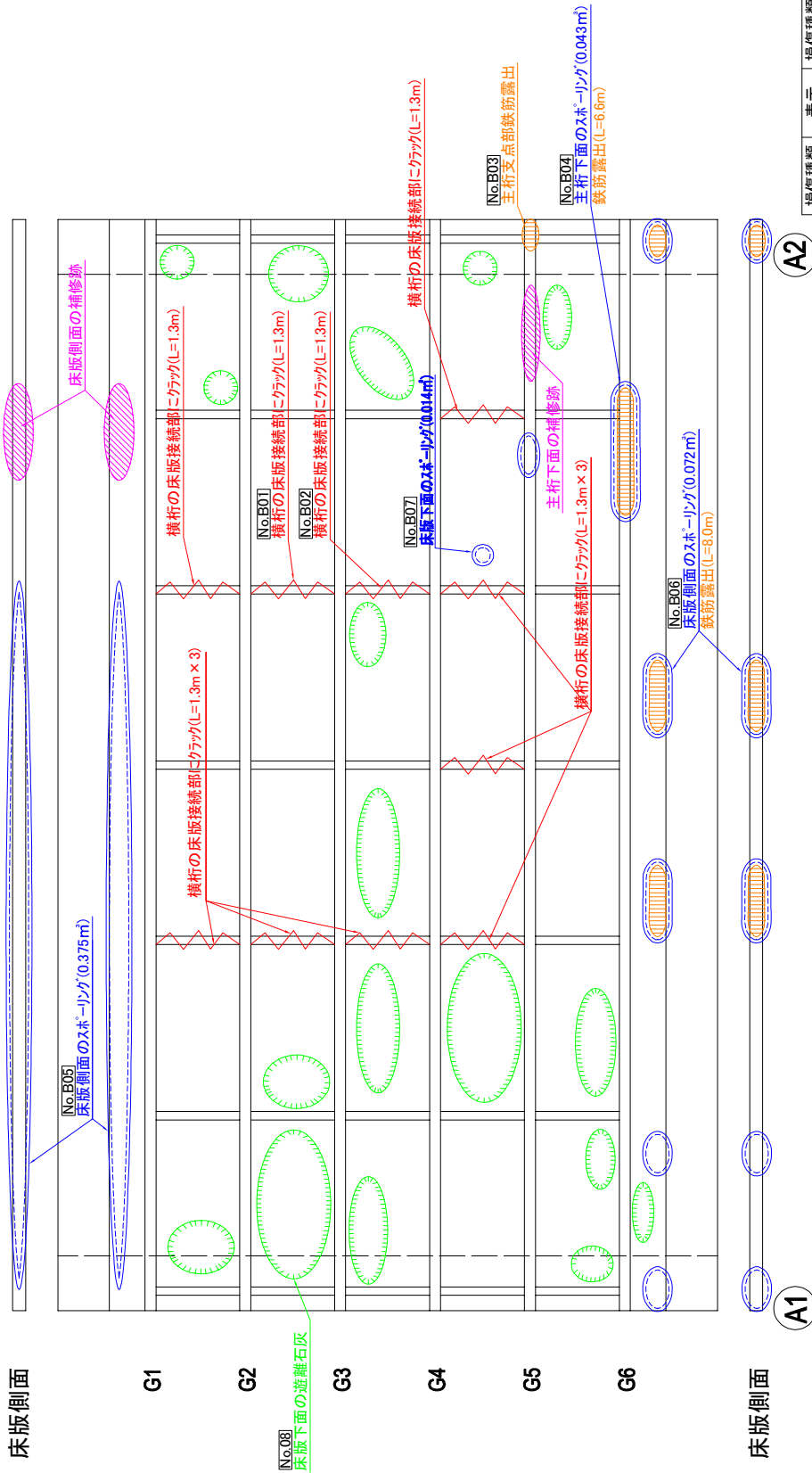
No.14 Karasu II 橋
(376km+980)
橋面



損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スボ-リング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	[No.000]		

REVISIONS		TITLE :		Drawing No.		Sheet No.	
No.	Date	Description			Date	Scale	Date
			Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz				AUG. 2012
			 KEI INTERNATIONAL MATAHIRA & ENGINEERS		Approved by : General Manager		
			Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaanov Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic.		Checked by :		
					Designed by :		

No.14 Karasu II 橋 (376km+980) 上部工下面



描種類	表示	描種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スホーリング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	[No.000]		





REVISIONS	No.	Date	Description
Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaanov Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic			
KEI INTERNATIONAL KATAHIRA & ENGINEERS			
Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz			
TITLE:		Approved by:	General Manager
		Checked by:	
		Designed by:	
		Date:	
		Scale:	
		Date:	
		Sheet No.	
		Date:	AUG. 2012

Bridge No.14 Karasu 橋

橋梁概要

<p>橋面 (A1 橋台側 から A2 橋台 側を望む)</p>		<p>A1 橋台</p>	
<p>橋梁側面 (G6 桁側)</p>		<p>A2 橋台</p>	

橋面 (1/1)

<p>No.A01 [部材] 舗装 A1 橋台伸縮目 地部</p> <p>[損傷状況] 伸縮目地部の舗装に クラックあり。 伸縮装置が無い ため、桁および床版の 伸縮により発生した と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>		<p>No.A03 [部材] 舗装 A2 橋台付近</p> <p>[損傷状況] 橋台付近の舗装に橋 軸方向にクラックあり。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>	
<p>No.A02 [部材] A2 橋台伸縮目地部</p> <p>[損傷状況] 伸縮目地部の舗装に クラックあり。 伸縮装置が無い ため、桁および床版の 伸縮により発生した と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>		<p>No.A04 [部材] 高欄 橋梁中央付近 G6 桁側</p> <p>[損傷状況] 鋼製高欄の変形およ び基部コンクリートの脱 落。 車両の衝突等により 生じたものと考えら れる。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>	

上部工 (1/2)

<p>No.B 01 [部材] 横桁 G2 桁 G3 桁間</p> <p>[損傷状況] 横桁の床板接続部に クラックあり。 施工不良によるもの と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>		<p>No.B03 [部材] G5 桁 A2 橋台支点</p> <p>[損傷状況] 支点部に鉄筋露出あ り。施工不良による ものと考えられる。発 鋼製支承の錆の発 生。床版端部からの 漏水や土砂堆積によ る影響と考えられ る。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>	
<p>No. B02 [部材] 横桁 G3 桁 G4 桁間</p> <p>[損傷状況] 横桁の床板接続部に クラックあり。 施工不良によるもの と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>		<p>No.B04 [部材] G6 桁下面</p> <p>[損傷状況] 主桁下面にスリット (0.043 m³)および鉄 筋露出(延長6.6m) あり。 主桁の施工不良によ るものと考えられ る。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>	

上部工 (2/2)

<p>No. B05 [部材] 床版張出部 G1 桁側</p>		<p>No. B07 [部材] 床版下面 G4 桁 G5 桁間</p>	
<p>[損傷状況] 張出部端部のスリット (0.375 m²)、遊離石灰も発生しており、橋面からの漏水をうけ凍結融解によりコンクリートが損傷したと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月12日</p>	<p>[損傷状況] 床版下面に補修跡、スリットあり。施工不良によるものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月12日</p>
<p>No. B06 [部材] 床版張出部 G6 桁側</p>		<p>No. B08 [部材] 床版下面 A1 橋台付近 G2 桁 G3 桁間</p>	
<p>[損傷状況] 張出部端部にスリットがあり、橋面からの漏水をうけ凍結融解によりコンクリートが損傷したと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月12日</p>	<p>[損傷状況] 遊離石灰。床版下面で全体的に遊離石灰が多く発生しており、床版コンクリートを通じて橋面上から水が浸透していると考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月12日</p>

下部工 (1/1)

<p>No.C01 [部材] A1 橋台 沓座面 G6 桁</p> <p>[損傷状況] 沓座部に土砂堆積あり。 橋面舗装補修時等に遊間部から堆積したものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>		<p>No.C03 [部材] A1 橋台 橋台側部の土砂</p> <p>[損傷状況] 橋台側部の土砂流出。 道路排水施設が無い ため、雨水や雪解水 等により流出したも のと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>	
<p>No.C02 [部材] A1 橋台側面 G1 桁側</p> <p>[損傷状況] 橋台側面に遊離石灰あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>		<p>No.C04 [部材] A2 橋台 沓座面 G4 桁 G5 桁間</p> <p>[損傷状況] 沓座部に土砂堆積あり。 橋面舗装補修時等に遊間部から堆積したものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月12日</p>	

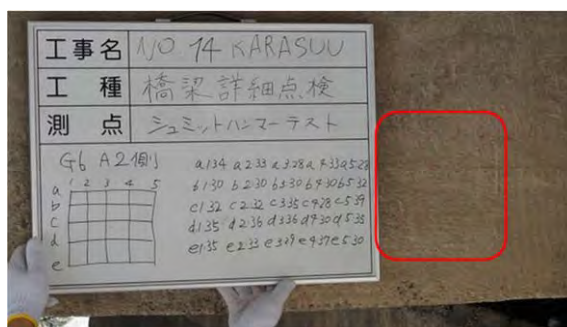
シュミットハンマーテスト結果

橋名	No14Karassuu2橋		STA. No.376+980	
位置	主桁		橋台	橋脚
	G6桁A2側			
打撃姿勢	水平(H)	水平(H)		
	h			
回数	No.1	No.2	No.3	No.4
1	34			
2	33			
3	30			
4	33			
5	30			
6	30			
7	30			
8	30			
9	32			
10	32			
11	32			
12	35			
13	35			
14	36			
15	36			
16	30			
17	35			
18	35			
19	33			
20	29			
平均R	32.5	0	0	0
F =	23.4	-12.7	-12.7	-12.7

$F = Gx(-184+13.0Ro)$ (N/mm²) (for Horizontal Impact)

$F = Gx(-130+12.5Ro)$ (N/mm²) (for Vertical Impact)

G = 0.0980665

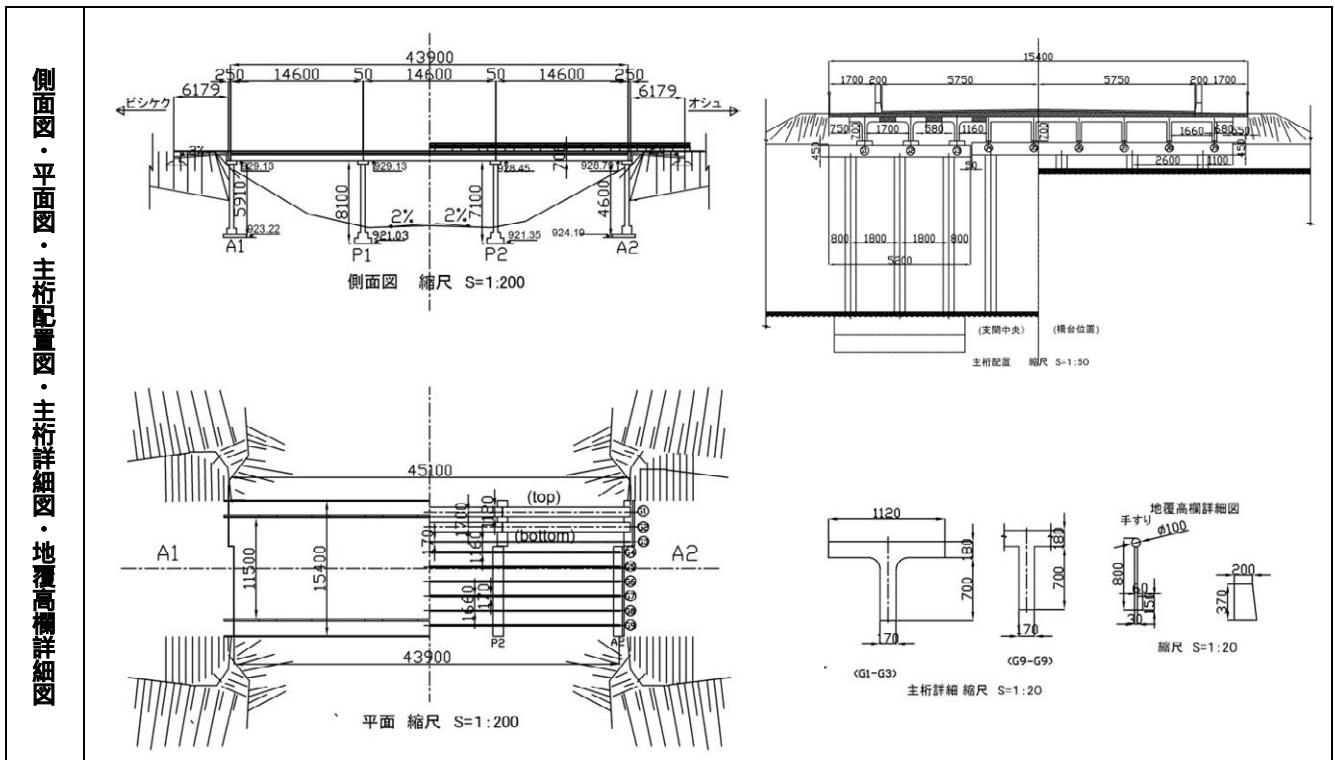


橋梁諸元

橋梁名	No.17 Kara-Kol	路線名	国道ビシケク-オシ道路	管轄	ビシケク-オシ道路管理局
所在地	Jalal-Abad 州、Kara Kol 市	距離標	Sta.389+130		DEP30

供用開始	1967年 (2001年拡幅)	活荷重	60ton
橋長又は支間長	43.8m = 3 * 14.6、45.0m = 3 * 15.0 (拡幅部)	総径間数	1
上部工形式	単純 RC 桁	下部工形式	橋台：盛りこぼし 橋脚：-
基礎形式	橋台：不明 橋脚：-	支承種別	鋼製、ゴム (拡幅部)
橋面舗装種別	アスファルトコンクリート舗装	橋梁建造元	MOTC

幅員	15.40m	歩道	路肩	車道	車道	路肩	歩道
		1.9m	2.2m	3.55m	3.55m	2.2m	1.9m



径間毎の調査結果

No.17 橋		径間番号						1 (A1~P1)				
		コンクリート部材の損傷						その他			補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		ひび割れ・漏水・遊離石灰 (番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状			
主桁	01	c		無							2 一部鉄筋露出	No.B01 ~ B03
	02	b	-	無							2 一部鉄筋露出	No.B05 ~ B06
	03	c		無							2 一部コンクリート剥落	No.B07 ~ B08
	04	b	-	無							2 広範囲遊離石灰	No.B09 ~ B10
	05	b	-	無							2 一部ジャンカ	No.B12 ~ B13
	06	b	-	無							2 一部鉄筋露出	No.B14
	07	b	-	無							2 凍結融解ひび割れ、ジャンカ	No.B16 ~ B17
	08	b	-	無							3 凍結融解ひび割れ	No.B19
	09	b	-	無							3 凍結融解ひび割れ	No.B23 ~ B24
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					3 一部遊離石灰	-
	02			無	無	a					2 一部うき、広範囲遊離石灰	No.B04
	03			無	無	a					3	-
	04			無	無	a					3 全面遊離石灰	-
	05			無	無	a					3 凍結融解ひび割れ	No.B11
	06			無	無	a					2 一部鉄筋露出、遊離石灰	-
	07			無	無	a					2 一部鉄筋露出	No.B15
	08			無	無	a					2 一部鉄筋露出、遊離石灰	No.B18
	09			無	無	a					2 一部鉄筋露出、全面遊離石灰	No.B20 ~ B22
	10			無	無	a					3	-

No.17 橋		径間番号						1 (A1~P1)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
下部工	01	b	-	無							2	No.C01
	02	a	-	無							3	-
支承	101								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	102								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	103								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	104								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	105								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	No.C02
	106								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	No.C02
	107								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	108								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	109								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	201								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	202								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	203								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	204								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	205								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	206								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	207								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	208								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	209								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-

No.17 橋	径間番号						1 (A1~P1)				
	コンクリート部材の損傷						その他			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
	ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
路面							有			2 伸縮装置部ひび割れ、歩道コンクリート舗装ひび割れ	No.A01 ~ A03
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水機能が無いが、縦断勾配があるため、ピシュケク側に流下し、路面の排水口から排水されている。										
評価	緊急に補修が必要な箇所は無いものの、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。										
調査日	2012年4月10日、23日、24日					調査者	中村友彦				

No.17 橋		径間番号					2 (P1~P2)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷					その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰 (番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
主桁	01	c		無						2 一部剥落・鉄筋露出、凍結融解ひび割れ	No.B25 ~ B27
	02	b	-	無						2 一部剥落・鉄筋露出	No.B28
	03	b		無						2 一部剥落・鉄筋露出、凍結融解ひび割れ	No.B29
	04	b	-	無						2 一部剥落・鉄筋露出(車両の衝突)うき、広範囲遊離石灰	No.B31 ~ B33
	05	b	-	無						2 一部剥落・鉄筋露出(車両の衝突)うき、凍結融解	No.B35 ~ B36
	06	b	-	無						2 一部剥落・鉄筋露出(車両の衝突)凍結融解	No.B37 ~ B38
	07	b	-	無						2 一部剥落・鉄筋露出(車両の衝突)うき、凍結融解	No.B39 ~ B40
	08	b	-	無						2 一部剥落・鉄筋露出(車両の衝突)凍結融解	No.B41 ~ B43
	09	b	-	無						2 一部剥落・鉄筋露出(車両の衝突)凍結融解	No.B46 ~ B48
横桁	01										
	02										
	03										
床版	01			無	無	a				3	-
	02			無	無	a				3 広範囲遊離石灰	-
	03			無	無	a				3	-
	04			無	無	a				2 一部うき	No.B30

No.17 橋		径間番号					2 (P1~P2)				補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
	05			無	無	a					2 一部うき、鉄筋露出	No.B34
	06			無	無	a					2 一部鉄筋露出、遊離石灰	-
	07			無	無	a					2 一部うき、剥落・鉄筋露出	-
	08			無	無	a					2 一部うき、遊離石灰	-
	09			無	無	a					2 一部うき、全面遊離石灰	No.B44 ~ B45
	10			無	無	a					3	-
下部工	01	a	-	無							2 一部うき	No.C04, C06
	02	a	-	無							2 一部剥落・鉄筋露出	No.C07
支承	101								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	102								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	103								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	104								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	105								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	No.C05
	106								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	No.C03
	107								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	108								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	109								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	201								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	202								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	203								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	204								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-

No.17 橋		径間番号					2 (P1~P2)			補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
	205								無		2 鋼製支承腐食程度(中)、土砂堆積	-
	206								無		2 鋼製支承腐食程度(中)、土砂堆積	-
	207								無		2 鋼製支承腐食程度(中)、土砂堆積	-
	208								無		2 鋼製支承腐食程度(中)、土砂堆積	-
	209								無		2 鋼製支承腐食程度(中)、土砂堆積	-
路面								有			2 伸縮装置部ひび割れ、歩道コンクリート舗装ひび割れ	No.A02
その他		伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水機能が無いが、縦断勾配があるため、ビシュケク側に流下し、路面の排水口から排水されている。										
評価		緊急に補修が必要な箇所は無いものの、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。										
調査日	2012年4月10日、25日、26日					調査者	中村友彦					

No.17 橋		径間番号						3 (P2~A2)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
主桁	01	b	-	無							2 一部剥落・鉄筋露出、遊離石灰	No.B49 ~ B50
	02	b	-	無							2 ひび割れ幅 0.5mm	No.B52 ~ B53
	03	b	-	無							2 一部鉄筋露出、全面遊離石灰、一部凍結融解ひび割れ	No.B54 ~ B55
	04	b	-	無							2 一部鉄筋露出、全面遊離石灰、一部凍結融解ひび割れ	No.B56 ~ B57
	05	b	-	無							2 ひび割れ幅 0.3mm	No.B58
	06	b	-	無							2 一部鉄筋露出	No.B60 ~ B61
	07	b	-	無							2 一部鉄筋露出、うき	No.B64 ~ B66
	08	b	-	無							2 一部鉄筋露出、凍結融解、ジャンカ	No.B67 ~ B68
	09	b	-	無							2 一部鉄筋露出、凍結融解、ジャンカ	No.B71 ~ B72
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					3	-
	02			無	無	a					3 広範囲遊離石灰	No.B51
	03			無	無	a					3 遊離石灰	-
	04			無	無	a					3	-
	05			無	無	a					2 一部剥落・鉄筋露出、遊離石灰	-
	06			無	無	a					2 一部剥落・鉄筋露出	No.B59

No.17 橋		径間番号					3 (P2~A2)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
	07			無	無	a					2 一部剥落・鉄筋露出	No.B62 ~ B63
	08			無	無	a					2 一部剥落・鉄筋露出	-
	09			無	無	a					2 一部剥落・鉄筋露出、全面遊離石灰	No.B69 ~ B70
	10			無	無	a					3	-
下部工	01	a	-	無							3	-
	02	a	-	無							3	-
支承	101								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	102								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	103								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	No.C08
	104								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	105								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	106								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	107								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	108								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	109								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	201								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	202								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	203								無		2 ゴム支承劣化、土砂堆積	-
	204								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	205								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-
	206								無		2 鋼製支承腐食程度(中) 土砂堆積	-

No.17 橋		径間番号						3 (P2~A2)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
	207								無		2 鋼製支承腐食程度(中)、土砂堆積	-
	208								無		2 鋼製支承腐食程度(中)、土砂堆積	-
	209								無		2 鋼製支承腐食程度(中)、土砂堆積	-
路面								有			2 伸縮装置部ひび割れ、歩道コンクリート舗装ひび割れ	No.A04
その他		伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水機能が無いが、縦断勾配があるため、ピシュケク側に流下し、路面の排水口から排水されている。										
評価		緊急に補修が必要な箇所は無いものの、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。										
調査日	2012年4月10日、23日、24日						調査者	中村友彦				